

# 平成 24 年度 事業 報告 書

法人の名称 特定非営利活動法人 キズキ

## 1 事業の成果

創業二期目となる 2012 年は事務所を移転し、自習・居場所スペースやブースの拡大するところから始まった。「受験支援事業」(中退・ひきこもり経験者向けの学習塾の運営)では、創業当初にゼロであった生徒数も、二期目の終わりには 40 名程度になるなど、中退・引きこもり経験者の支援において実績を積み重ねることができた。また寄付を募って貧困家庭の若者たちにも支援の手を広げ、8 月には生活保護世帯の若者たちを対象とした勉強合宿を栃木で開催した。

また、二期目が終わる 4 月には東京都が認定する引きこもり支援団体の 1 つに選ばれ、「受験支援事業」の一環として弊団体が行う遠足・レクリエーションが、助成対象となった。行政と提携することで、さらに多くの若者達の支援に携わることが可能となった。

またこれまで実施してきた、専門学校等の高等教育機関を対象とした「基礎学力支援事業」も、引き続きトライアルとして行うことになった。低偏差値の専門学校・大学には、幼い頃からの不登校や発達障害などを原因とした低学力層(九九ができない、基本的な文章が書けない、など)が多数入学してくる。専門学校・大学としても、生徒が中退してしまうと、①授業料が徴収できない、②学校教職員の士気が低下する、などの課題が生じてしまうため、彼らの個別ケアに力を入れたいと考えていた。そこで、弊団体と提携して学校内に「学習支援センター」を開設、低学力層の個別ケアに力を入れることとなった。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 受験支援事業

内 容 不登校・中退・ひきこもり等を経験した子ども達の学び直しを学習教室を通じてサポートする。単なる学習支援だけでなく、教室の現場スタッフが、元不登校等の子ども達の特性に合わせた精神的サポートも行なう。また、勉強を通じて、過去に不登校等の躓きを経験した子ども達が、「自分もやれば出来る」という自己肯定感を獲得する手助けを行なっている。

またスポーツ大会や遠足などのアクティビティ開催を通じて、不登校・ひきこもり等の子ども・若者の社会参加を後押しする。不登校・ひきこもり等を経験する子ども達の中には、社会との接点が家庭だけの子ども達は少なくない。今後、就学・就労の際に必要な他人とのコミュニケーションを学ぶ場の提供を通じて、子ども達をサポートしている。

日 時 通年

場 所 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目 16 番 19 号 安岡ビル 1F

従事者人数 29 人 (うち講師 23 人)

受益対象者 不登校・引きこもりなど・高校中退などを経験した若者 40 人

支 出 額 8,986,466 円

#### ② 就労に向けた学びなおし事業

内 容 就職に必要な「学び直し」の支援。(実施せず)

日 時 --

場 所 --

従事者人数 --

受益対象者 --

支 出 額 --

③ 基礎学力支援事業

内 容 高校・専門学校と連携し、子ども達の基礎学力支援を行う。中退する子ども達の中には、基礎学力が備わっていないが故に中退せざるをえない者達がいる。そのため、基礎学力向上をサポートすることにより、彼らの中退を未然に防ぐ活動を行なう。

日 時 2013年6月～11月

場 所 葛西エリア（東京福祉専門学校、東京医薬専門学校）

従事者人数 6人

受益対象者 約90人

支 出 額 2,425,921円

④ 調査及び情報発信事業

内 容 困難を抱えた若者に対する調査を行い、白書の作成とその販売を行う事業。（実施せず）

日 時 --

場 所 --

従事者人数 --

受益対象者 --

支 出 額 --

⑤ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（実施せず）

(2) その他の事業

① 古本買取りによる寄附収益化事業

内 容 株式会社バリューブックスとの協働事業。古本の買い取り相当額を、寄付として頂く。

日 時 通年

場 所 なし

従事者人数 2人

受益対象者 0人

支 出 額 0円